

自治体・協議会名	福井県生活バス路線確保対策協議会
評価対象事業	地域間幹線系統

## 二次評価結果

### 評価できる取組

- ・燃料高騰に対する経営支援など、公共交通の確保維持に努められたことを評価します。
- ・電車・バスをテーマとしたエピソード募集や福井県の公共交通を題材にしたカードゲーム「のってこふくい」を作成して出前講座を行なうなど、公共交通に対する意識醸成や利用促進に努められたことを評価します。
- ・県内のほぼすべての地域間幹線系統に交通系ICカードを導入すべく支援を行ったこと、JR越美北線の定期券所持者が京福バス大野線を割引運賃で乗車できる制度を新設したことなど、利用環境の整備を推進されたことについて評価します。
- ・令和6年1月に嶺北地域公共交通計画を策定されたことを確認しました。

### 期待する取組

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業を好機と捉え、市町や交通事業者と連携を深め、観光等で訪れる来県者に対し、駅から地域間幹線系統に乗って県内を移動いただくようなプロモーションについて検討・実施されることを期待します。
- ・策定された嶺北地域公共交通計画に基づき、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの確保維持や利用促進などが図られることを期待します。
- ・地域間幹線系統の必要性やあり方、維持方策など県の考え等については、各市町の協議会にて共有し、話し合い、その内容に応じて計画に反映される仕組みが計画に位置付けられることを期待します。
- ・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統(特に計画輸送量が15未満となっている系統)については、引き続き、現状の把握や課題の整理を行い、当該系統の必要性に応じ、関係市町や事業者等と連携しながら利用促進や系統の見直し等に向けた協議や取組が実施されることを期待します。
- ・運転者不足や運転者に係る働き方改革の動向も踏まえながら、国、市町、事業者等と連携しながら人材確保に係る取組や支援を進められることを期待します。